

山田特別支援学校「生活単元学習における防災学習」単元系統表

めざす児童生徒像		○自然災害などの危機に際して主体性を持って自らの命を守り抜くための態度や能力を身につけた児童生徒					
学部 学年 指導10項目		小学部1. 2年	小学部3. 4年	小学部5. 6年	中学部1. 2. 3年	高等部1. 2. 3年	
備	1 地域におこる災害を知る	目標	◎支援を受けながら、南海トラフ巨大地震が来ることを理解する。(生/イ 安全, 国) ◎緊急地震速報の意味を理解する。(生/イ 安全, 国)	◎支援を受けながら、南海トラフ巨大地震がきた時の状況を知る。揺れや津波は何回も繰り返し襲ってくることを知る。(生/イ 安全, 国) ◎緊急地震速報を理解する。(生/イ 安全, 国)	◎支援を受けながら、南海トラフ巨大地震がきた時の状況を理解する。揺れによる建物損壊、火災、津波等、地震の危険を理解する。(生/イ 安全, 国) ◎緊急地震速報を理解する。(生/イ 安全, 国)	◎南海トラフ巨大地震の大まかな仕組みを理解する。火災、津波、土砂災害等の二次災害が起こることを理解する。(理/B 地球・自然, 国) ◎緊急地震速報の仕組みを知り、有効に活用できる。(社/イ 公共施設, 国)	◎南海トラフ巨大地震の大まかな仕組みを理解する。二次災害も含め自分の住む地域や学校、通学路に発生する危険を知る。(理/B 地球・自然, 国) ◎緊急地震速報の仕組みを知り、有効に活用できる。(社/イ 公共施設, 国)
		単元名 (時間数)	◆南海トラフ巨大地震がきたら、どのようになるのかを知ろう(1)	◆南海トラフ巨大地震がきたら、どのようになるのかを知ろう(1)	◆南海トラフ巨大地震がきたら、どのようになるのかを知ろう(1)	◆南海トラフ巨大地震がきたら、どのようになるのかを知ろう(1)	◆南海トラフ巨大地震がきたら、どのようになるのかを知ろう(3) 略案
		◆地震による災害を知ろう(2)	◆地震による災害を学ぼう(2)	◆地震による災害を学ぼう(2)	◆地震による災害を学ぼう(2)	◆地震による災害を学ぼう(2)	◆地震による災害を学ぼう(3) 略案
		◆緊急地震速報ってなんだろう(1)	◆緊急地震速報の意味を学ぼう(1)	◆緊急地震速報の意味を学ぼう(1)	◆緊急地震速報の意味を学ぼう(1) 略案	◆緊急地震速報の意味を学ぼう(1)	
え	2 必ず助かるための知恵と備え	目標	◎支援を受けながら、非常持ち出し品について知る。(生/コ 社会の仕組み, 国) ◎支援を受けながら、学校の備蓄倉庫の場所や備蓄品の内容を知る。(生/コ 社会の仕組み, 国)	◎支援を受けながら、非常持ち出し品について知る。(生/コ 社会の仕組み, 国) ◎支援を受けながら、学校の備蓄倉庫の場所や備蓄品の内容を知る。備蓄品がなぜ必要なのかわかる。(生/コ 社会の仕組み, 国)	◎支援を受けながら、非常持ち出し品について学ぶ。(生/コ 社会の仕組み, 国) ◎支援を受けながら、学校の備蓄倉庫の場所や備蓄品の内容を知る。(生/コ 社会の仕組み, 国) ◎備蓄品がなぜ必要なのかわかる。(生/コ 社会の仕組み, 国)	◎非常持ち出し品、備蓄品の理解をする。(社/ウ 地域の安全, 職家/B 衣食住, 国) ◎非常持ち出し袋の準備や夜間の地震対策を家族と一緒に考え準備する。(社/ウ 地域の安全, 職家/B 衣食住, 国)	◎非常持ち出し品や備蓄品の必要性や活用方法の理解を進める。(社/ウ 自然環境, 家/B 衣食住, 国)
		単元名 (時間数)	◆非常持ち出し品にはどんなものがあるだろう(1)	◆非常持ち出し品について学ぼう(1)	◆非常持ち出し品について学ぼう(1) 略案	◆非常持ち出し品について学ぼう(1)	◆非常持ち出し品について学ぼう(1)
		◆備蓄品にはどんなものがあるだろう(2)	◆学校や家庭の備蓄品について学ぼう(2)	◆学校や家庭の備蓄品について学ぼう(1) 略案	◆学校や家庭の備蓄品について学ぼう(2)	◆学校や家庭の備蓄品について学ぼう(2)	
る	3 みんなで助かるための備え	目標	◎支援を受けながら身の回りのことで自分ができることを増やす。(生/A 基本的生活習慣, 道徳, 国) ◎学校生活において安定して過ごすことができる時間を増やす。(特活, 国)	◎身の回りのことで自分ができることを増やす。(道徳, 国) ◎学校生活の様々な集団の中で安定して過ごすことができる。(特活, 国)	◎身の回りのことで自分ができることを増やす。(道徳, 国) ◎学校生活や集団生活の中で簡単な手伝いができる。(特活, 国)	◎集団生活のルールやマナーを理解して行動できる。(社/A 社会参加, 保体/H 保健, 総合, 国) ◎自分にできる手伝いは積極的に行う。(社/A 社会参加, 職家/B エ 快適な住まい)	◎集団生活のルールやマナーを理解して行動できる。(社/A 社会参加, 保体/I 保健, 総合, 国) ◎自分にできる手伝いは積極的に行う。協力して生活を送る。
		単元名 (時間数)	◆集団生活を覚えよう(1)	◆集団生活に慣れよう(1)	◆集団生活ができるようになろう(1)	◆集団生活ができるようになろう(1)	◆集団生活ができるようになろう(1) 略案
命	4 揺れから自分を守る	目標	◎揺れを感じたり緊急地震速報を聞いた時、支援を受けながら、頭を守る姿勢がとれる。(生/イ 安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を聞いた時、支援を受けながら、揺れがおさまるまで静かに頭を守る姿勢で待つことができる。(生/イ 安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を聞いた時、支援なしで、揺れがおさまるまで落ち着いて身を守る姿勢で待つことができる。(生/イ 安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、どこにいても「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所を探して、身を寄せ頭を守る姿勢がとれる。(社/ウ 地域の安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、どこにいてもすぐに安全な場所を探して揺れから身を守る行動ができる。(社/ウ 自然環境, 特活, 国)
		単元名 (時間数)	◆揺れから身を守る姿勢を覚えよう(1) 略案	◆揺れから身を守る姿勢を覚えよう(1)	◆揺れから身を守る姿勢を身につけよう(1)	◆揺れから身を守る姿勢を身につけよう(1)	◆揺れから身を守る姿勢を身につけよう(1)
5 津波からの迅速な避難	5 津波からの迅速な避難	目標	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、支援を受けながら高い所に急いで避難できる。(生/イ 安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、支援を受けながら落ち着いて高い所に急いで避難できる。(生/イ 安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、できるだけ一人でより高い所に急いで避難できる。(生/イ 安全, 道徳, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、一人でより高い所に急いで避難することを覚える。支援を受けながら高台や避難経路を確認しておくことができる。津波に関する標識を覚える。(社/ウ 地域の安全, 特活, 国)	◎揺れを感じたり緊急地震速報を見聞きした時、一人でより高い所に急いで避難することを覚える。支援を受けながら海拔表示や標識を確認しておくことができる。(社/ウ 自然環境, 特活, 国)
		単元名 (時間数)	◆津波避難行動を学ぼう(1)	◆津波避難行動を理解しよう(1)	◆津波避難行動を身につけよう(1)	◆津波避難行動を身につけよう(1)	◆津波避難行動を身につけよう(2) 略案

を
守
る

暮
ら
し
を
と
り
も
ど
す

6	いつ、どこにいても自分を守る	目標	◎発災時には、支援を受けながら倒壊物から離れた安全な場所に身を寄せ、持ち物等で頭を守る行動をとることを覚える。 (生/イ 安全, 国)	◎発災時には、一人でも適切に判断し、倒壊物から離れた安全な場所に身を寄せ、持ち物等で頭を守る行動をとることを覚える。 (生/イ 安全, 道徳, 国)	◎発災時には、一人でも適切に判断し、倒壊物から離れた安全な場所に正しい姿勢で身を寄せ、落ち着いて持ち物等で頭を守ることを覚える。 (生/イ 安全, 特活, 国)	◎支援者とともに通学路の避難経路や避難場所を確認する。通学路の橋や崖等の危険個所を確認し発災時は避け、安全な道を探して避難することを理解する。 (社/ウ 地域の安全・オ 地理や歴史, 国)	◎支援者とともに通学路における避難経路や避難場所を複数確認し避難計画を立てる。発災時には安全に避難することを覚える。 (社/ウ 自然環境, 国)
		単元名 (時間数)	◆一人の時でも助かるための方法を学ぼう(1)	◆一人の時でも助かるための方法を学ぼう(1)	◆一人の時でも助かるための方法を学ぼう(1)	◆一人の時でも助かるための方法を学ぼう(1) 略案	◆一人の時でも助かるための方法を学ぼう(1)
7	二次災害への対応	目標	◎動けるくらいの揺れになったら、支援を受けながらすぐに安全な場所に避難する。 (生/イ 安全, 特活, 国) ◎「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」を念頭にみんなで急いで避難することを覚える。 (生/イ 安全, 特活, 国)	◎動けるくらいの揺れになったら、みんなで急いで安全な場所に避難することを学ぶ。 (生/イ 安全, 特活, 国) ◎火災発生時は火元を避け、支援を受けながら訓練で身に付けた行動で迅速に避難することを理解する。 (生/イ 安全, 特活, 国)	◎動けるくらいの揺れになったら、すぐに安全な場所に避難することを覚える。 (生/イ 安全, 特活, 国) ◎火災発生時は火元を避け、訓練で身に付けた行動で迅速に避難することを理解する。 (生/イ 安全, 特活, 国)	◎動けるくらいの揺れになったら、迅速に安全な場所に避難することを覚える。 (特活, 国) ◎事前に確認していた二次災害の恐れのある危険個所には近づかないように避難することを覚える。 (社/ウ 地域の安全, 特活, 国)	◎動けるくらいの揺れになったら、すぐに安全な場所に適切に避難することを覚える。 (特活, 国) ◎揺れの後は、断続的な余震、火災、土砂災害、地面の液化化等の二次災害があることを知り、安全な避難計画を立てておくことを理解する。 (社/ウ 自然環境, 特活, 国)
		単元名 (時間数)	◆地震火災から逃げる方法を学ぼう(1) 略案 ◆土砂災害から身を守る方法を学ぼう(1)	◆地震火災から逃げる方法を学ぼう(1) ◆土砂災害から身を守る方法を学ぼう(1)	◆地震火災から逃げる方法を学ぼう(1) ◆土砂災害から身を守る方法を学ぼう(1)	◆地震火災から逃げる方法を学ぼう(1) ◆土砂災害から身を守る方法を学ぼう(1)	◆地震火災から逃げる方法を学ぼう(1) ◆土砂災害から身を守る方法を学ぼう(1) 略案
8	助ける人になるための行動	目標	◎津波や地震火災の危険がない場合、火災や瓦礫の下敷きになっている人を発見したら大声を出したり人を呼びに行くことを理解する。 (生/カ 役割, 国)	◎津波や地震火災の危険がない場合、火災や瓦礫の下敷きになっている人を発見したら大声を出したり、人を呼ぶ等の行動をとることを覚える。 (生/カ 役割, 国)	◎津波や地震火災の危険がない場合、火災や瓦礫の下敷きになっている人を発見したら大声で周囲の人に知らせたり大人を呼びに行ったり瓦礫撤去を手伝ったり、できる限りの行動をとることを理解する。 (生/カ 役割, 道徳, 国)	◎津波や地震火災の危険がない場合、火災や瓦礫の下敷きになっている人を発見したら、周囲の人に知らせ、初期消火や搬送等の自分に可能な限りの手伝いをすることを理解する。 (保体/H 保健, 道徳, 国)	◎津波や地震火災の危険がない場合、火災や瓦礫の下敷きになっている人を発見したら周囲の人に知らせ、消火や救助の手伝い等自分にできる限りの行動をとることを理解する。 (保体/I 保健, 道徳, 国)
		単元名 (時間数)	◆けが人や病人を助ける方法を学ぼう(1)	◆けが人や病人を助ける方法を学ぼう(1) 略案	◆けが人や病人を助ける方法を学ぼう(1)	◆けが人や病人を助ける方法を学ぼう(1)	◆けが人や病人を助ける方法を学ぼう(1)
9	みんなで生き延びるための知恵と技	目標	◎避難生活においては、支援を受けながら集団生活のルールやマナーを理解して、落ち着いて過ごすことを理解する。 (生/ケ きまり, 国) ◎地震がきたら電話がつながりにくくなるのがわかる。 (生/イ 安全, 国)	◎避難生活においては、支援を受けながら、集団生活のルールやマナーを守り、我慢したり分け合ったりすることが理解できる。 (生/ケ きまり, 国) ◎地震がきた時の家族との連絡方法に「災害伝言ダイヤル171」があることを知る。 (生/コ 社会の仕組み, 国)	◎避難生活においては、支援を受けながら、集団生活のルールやマナーを守り、我慢したり、分け合ったり、協力したりすることを理解する。 (生/ケ きまり, 国) ◎地震がきた時の家族との連絡方法に「災害伝言ダイヤル171」があることを理解する。 (生/コ 社会の仕組み, 国)	◎避難生活においては、集団生活のルールやマナーを守りながら過ごすことを覚える。 (社/ア 社会参加, 職家/B エ 快適な住まい, 道徳, 国) ◎「災害伝言ダイヤル171」等で家族と連絡をとる方法を理解する。 (社/イ 公共施設, 国)	◎避難生活においては、集団生活のルールやマナーを守り、自分にできる限りの協力をしながら過ごすことを覚える。 (社/ア 社会参加, 家/B オ 住居, 道徳, 国) ◎「災害伝言ダイヤル171」等の利用の仕方を覚える。 (社/イ 公共施設, 国)
		単元名 (時間数)	◆避難所での生活を知ろう(3) ◆家族の無事を確認しよう(1)	◆避難所での生活を知ろう(3) 略案 ◆家族の無事を確認しよう(1) 略案	◆避難所での生活を知ろう(3) ◆家族の無事を確認しよう(1)	◆避難所での生活を知ろう(3) ◆家族の無事を確認しよう(1)	◆避難所での生活を知ろう(3) ◆家族の無事を確認しよう(1)
10	地域社会の一員としての心構え	目標	◎身の回りのことで自分でできることを増やす。 (道徳, 国) ◎支援を受けながら学校で学習したことを家庭に伝えることができる。 (生/オ 人との関わり, 国)	◎身の回りのことで自分でできることを増やす。 (道徳, 国) ◎家庭において防災について話す時間を設ける。 (生/オ 人との関わり, 国) ◎支援を受けながら地域の防災訓練に参加する。 (生/カ 役割, 国)	◎身の回りのことで自分でできることを増やす。 (道徳, 国) ◎家庭の防災対策を手伝う。 (生/カ 役割, 国) ◎支援を受けながら地域の防災訓練に参加する。 (生/カ 役割, 国)	◎家庭において、備蓄品の確認や発災時の避難場所や集合場所、連絡先等の確認をしておくことができる。 (職家/A イ 役割, 国) ◎地域の防災活動にはどのようなものがあるのかを知る。 (職家/A エ 地域の人々, 国)	◎家庭において、備蓄品の確認や発災時の避難場所や集合場所、連絡先等の確認をしておくことができる。 (家/A イ 家庭生活, 国) ◎地域の防災活動を知り、できる範囲で参加することができる。 (家/A イ 家庭生活, 道徳, 国)
		単元名 (時間数)	◆身近な人とあいさつしよう(1)	◆地域の人と仲良くしよう(1)	◆地域の人と仲良くしよう(1) 略案	◆地域の人とつながっておこう(1)	◆地域の人とつながっておこう(1)

指導者氏名:

授業日時 令和 4年 7月 8日 金曜日 (13:20~14:05)

場所 (小6教室)

単元・題材名		非常持ち出し袋の中身を確認しよう!	第 1 / 5 時					
	評価の観点	目標						
本時の目標	知識及び技能	非常持ち出し袋には、どんな物が入っているのかが分かる。	学習評価	A	目標設定	A	支援	B
	思考力・判断力・表現力等	非常持ち出し袋の中身と確認表の各項目とを対応することができる。		B		B	の手立て	B
	学びに向かう力、人間性等	確認表を見ながら、非常持ち出し袋の中身を確認しようとする。		B		B	て	B

本時の授業後「学習評価」、「目標設定」、「手立て」の順にA~Dで記入する。

学習評価 : A 達成できた B ほぼ達成できた C 一部達成できた D 達成できなかった

目標設定 : A 目標は適切だった B 目標は低すぎた C 目標が高すぎた D 目標が適切でなかった

支援の手立て : A 有効であった B ほぼ有効であった C 一部有効であった D 適切ではなかった

前時からの改善点	
各教科内容一覧表	生活 (イー安全)

学習過程

過程	時間配分	学習活動 ※探究的な学習活動場面:	指導上の留意点・支援
導入	5分	1 あいさつをする。 2 学習内容を知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① テレビをみる ② ひじょうもちだしぶくろ を かくにんしよう ③ ふりかえり </div>	・学習の始まりを意識できるよう、全児童の姿勢が整っているか確認し、日直の児童に号令をかけるように促す。 ・本時のスケジュールを確認する。 ※テレビでスケジュールを提示する。

<p>展 開</p>	<p>3 5 分</p>	<p>3 テレビを見る</p> <p>①地震の動画を見る。 ②地震後の生活についての説明を聞く。</p> <p>4 非常持ち出し袋の中身を確認する</p> <p>①持ち物を全部かばんから出す。 ②確認表を見る。 ③持ち物があるかないかを確認する。 ④持ち物があれば確認表にシールを貼る。 ④確認が終わった時には、確認表をT1に「できました」と言って手渡す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の動画を見せることを通して、地震が起きたらどうなるかイメージできるようにする。 ・地震が起こったら、おいしいご飯が食べられなくなることやお風呂にも入れなくなることなど、ライフラインが使えなくなった場合の具体例を伝えるようにする。 ・避難所生活の様子も伝える。 ・一つ一つ、児童が自分でリュックの中から荷物を出すように促す。 ・チェックシートの文字を読むように促し、それと同じ中身を非常持ち出し袋の中から探すようにする。(B, E, C) ・教員が2つの物を持ち、「○○はどっちかな？」と聞くことで、児童が選択して答えられるようにする。(A, D, F) 正しい物を選択できた場合には、即時に称賛する。 ・持ち物が入っていた場合には、持ち物確認表の項目にシールを貼るように促す。
<p>ま と め</p>	<p>5 分</p>	<p>5 振り返りをする</p> <p>6 あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ確認表の結果を確認するようにする。その際、各児童の補助者の教員が、各児童が頑張っていた点やできていた点なども伝えるようにする。 ・学習の終わりを意識できるよう、全児童の姿勢が整っているかを確認し、日直の児童に号令をかけるように促す。

準備物

テレビ、PC、非常持ち出し袋、確認表、シール

中学部 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導略案

指導者氏名：

授業日時 令和4年7月6日金曜日 第4～5校時

場所 多目的ホール

単元・題材名		災害に備えちよき「地震の仕組みと避難グッズ」	第 1		2 時	
	評価の観点	目標				
本時の目標	知識・技能	非常持出袋や備蓄品の必要性を知ることができる。	学 習 評 価	目 標 設 定	支 援 の 手 立 て	
	思考力・判断力・表現力	家の防災グッズには何があるのか、何が必要なのか考えることができる。				
	学びに向かう力、人間性	非常持出袋や備蓄品の必要性を感じ、日頃から災害に備えようとする。				

本時の授業後「学習評価」、「目標設定」、「手立て」の順にA～Dで記入する。

学習評価 : A 達成できた B ほぼ達成できた C 一部達成できた D 達成できなかった

目標設定 : A 目標は適切だった B 目標は低すぎた C 目標が高すぎた D 目標が適切でなかった

支援の手立て : A 有効であった B ほぼ有効であった C 一部有効であった D 適切ではなかった

前時からの改善点	
各教科内容一覧表	(社/ア 社会参加, 保体/H 保健, 総合, 国)

学習過程

過程	時間配分	学習活動	指導上の留意点・支援
導入	5	1 あいさつ 2 本時の内容の説明 ①あいさつ ②災害のはなし ③非常持ち出し袋の必要性 ④各家庭アンケートの内容発表 ⑤家庭には何が必要か検討 ⑥ふりかえり ⑦あいさつ	・日直が号令。 ・ホワイトボード等に予定を板書しておく。 ・本時は災害時にどうして非常持ち出し袋が必要か、備蓄品の種類や家庭に準備されているものについて知ることをねらいとする。
展開	7 5	3 災害のはなし ・地震の影響や被害について知る。 ・地震の仕組みを作成する。 4 非常持ち出し袋の必要性 ・避難生活について知る。 ・必要物資について考える。 ・個人の非常持ち出し袋の中身を見せ、何のために必要なものか考える。	・東日本大震災の影響や被害が考えられるように、重要部分を白塗りした写真を提示し、考える時間を設ける。 ・見本を作成し、仕組みについて理解できるようにするほか、津波の仕組みが見えるよう水槽等使用する ・避難生活の写真を見せ、必要な物は何か写真から考えられるようにするほか、持ち出し袋リストを提示する。

		<p>5 各家庭アンケート統計を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭には何が必要なのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師はどうして必要なのかをしっかりと伝える。意味づけを行う。
ま と め	20	<p>6 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの発表をする。 ・一番必要と思った物資の発表をする。 <p>7 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【なぜ】【どうして】その物資が必要なのか発表できるようにする。生徒の意見はいつでもふりかえることができるように、ミニホワイトボードに細かく記入しておく。 ・日直が号令

生徒準備物：筆記用具、ミニホワイトボード、プロジェクター、写真（白塗り、避難生活）、

持ち出し袋、保護者へのアンケート、持ち出し袋リスト

防災学習 アンケート

保護者さんへ 総合の学習で使用します。アンケートのご協力、ぜひお願いします。

かていびちくひん かくにん
「家庭備蓄品を確認しよう!」

ねん くみ なまえ
年 組 名前 _____

1 家にある^{びちくひん}備蓄品に ○をしてください。

<p>防災食</p> 	<p>軍手</p> 	<p>保存水</p> 	<p>簡易トイレ</p> 	<p>ラジオ付ライト</p> 	
<p>防災食セット</p> 	<p>ヘルメット</p> 	<p>ラジオ付き LEDライト</p> 	<p>ランタン</p> 	<p>車載用防災セット</p> 	<p>キャスター用 ストッパー</p> 
<p>圧縮毛布</p> 	<p>土のう</p> 	<p>防災マニュアル</p> 	<p>レスキューシート</p> 		

2 上の^{うえ}写真以外に^{しゃしん いがい}ある物^かを書いてください。

ありがとうございました。大切に活用させていただきます。

個人非常持ち出し品（学校保管用）

個々に応じて必要なものを入れて持ってきてください。ご家庭にあるものでかまいません。
着替え等は身体の大きさに応じたもの、あるいは使用・賞味期限のあるものは、期限をご確認のうえ、適切な大きさのリュックサック等に入れて持ってきてください。

きが うわぎ 着替え（上着・シャツ・ズボン・パンツ・靴下など）	
きんぎゆうれんらくさき ヘルプカード（緊急連絡先・わが子の特徴など）	
あんしん 安心グッズ（絵本・塗り絵・おもちゃ・あめなど）	 
ひっきようぐ 筆記用具（ペン・マジック・メモ用紙など）	
きゅうきゅうひん 救急品（カットバン・包帯など）	
くすり じょうびやく しょうどくやく 薬（常備薬・消毒薬など）	
カッパ	
ハンカチ	
タオル	
ポケットティッシュ	
ポケットウェットティッシュ	
しんぶん 新聞	
マスク	
のもの 飲み物 (500ml ペットボトル)	
けいたいよう 携帯用ハンドジェル (しょうどくえき (消毒液など))	
ぐんて 軍手	
ビニール袋	
カイロ	
ふえ	
かいちゅうでんとう 懐中電灯	
かぞくしゃしん 家族写真	
かみ 紙おむつ	
せいりようひん 生理用品	
むし 虫よけスプレー	
めがね 眼鏡	